



Press Release

資料 4



報道関係者各位

令和3年 2月 17日
青森県立保健大学

福祉課題への挑戦～青森の未来へ～ 出版報告

青森県福祉課題研究会 石田賢哉・工藤英明・村田隆史 編
泰斗舎.2020.8.

I. 研究会結成及び出版経緯

青森県福祉課題研究会は青森県立保健大学の教員を中心に、2018年1月から青森県内の福祉課題、福祉課題に挑む福祉実践者、将来の福祉実践者を育てる取組について記録に残し、伝えることを目的に活動しています。

青森県は、豪雪地帯、短命県、少子・高齢化、人口流出、過疎化などのネガティブなイメージがあり、「社会福祉」も重労働の割に低賃金、大変な仕事、と捉えられることが多い現状です。しかし、青森県で福祉専門職を育成する私たちは、それは事実の一部でしかないと考え、青森県の良さ、特に社会福祉分野での取り組みを外部に発信したいと考えました。

研究会は月に2回程度、出版までには50回以上集まり、青森県内の福祉実践に関する情報収集、福祉実践の現場の見学やインタビュー、福祉実践者の育成に携わる県内団体とのコラボ、高校生や大学生への福祉教育も行い、書籍の発行を目指してきました。大学の教員が書くだけでなく、県内の福祉実践者と一緒に活動し一緒に書く、学生にも書いてもらうということを心がけました。特に福祉実践者に自分の言葉で伝えて欲しいという思いもありました。出版費用の一部について、公益財団法人青森学術文化振興財団の助成金の交付を受け出版に至りました。

II. 内容と本書の活用

「第1部 青森県の現状」では、青森県に関する社会経済的状況をまとめています。「第2部 青森の福祉課題への挑戦」では、県内の優れた実践とそれに取り組む人を取り上げており、子ども、障害、貧困、地域、司法、専門職、起業と多岐に亘っています。「第3部 地域課題を理解する福祉教育の実践」では、研究会のメンバー、人材育成に携わる県内の団体、高校生や大学生と取り組んだ実践を紹介しています。

本書は青森県内の公立図書館、青森県健康福祉部関係各課、青森市福祉部関係各課に寄贈させていただきました。県内の大学の図書館にも配架されており、本学では社会福祉学科の必修科目である「社会福祉学概論」の授業で教科書として活用しています。

III. 今後の展望

青森県福祉課題研究会は、今後も青森県内における福祉課題の解決を目指し実践されている福祉実践を全国に発信すべく、現在、続編の発行(2022年度予定)を目指し、月1回の研究会を継続しています。



問い合わせ*****

青森県立保健大学
〒030-8505 青森市浜館間瀬 58-1
TEL:017-765-2076
担当：社会福祉学科 石田
